

シラバス情報

授業方法	講義・実験・実習		
系列	自動車整備		
科目名	シャシ整備		
必修・選択	必修科目・選択科目		
対象学科	一級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	3年後期	・	月曜日・3・4時限
時限数	18時限(期末試験を除く)		
担当教員名	池上 健史		
実務経験	(有)・無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となるシャシ電子制御、構造・作動についての講義を実施する。		
授業の目的	現在の自動車は安全性の向上、操縦安定性の向上、快適性を重視する観点から各装置の電子制御化が進んでいる中、一級自動車整備士に必要な新技術の知識(構造・機能・点検・整備)を講義する。		
テキスト	①一級自動車整備士 シャシ電子制御装置(日本自動車整備振興会連合会 発行) ②一級自動車整備士 自動車新技術(日本自動車整備振興会連合会 発行)		
授業計画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト範囲
第1回	ABS(アンチロック・ブレーキ・システム)概要 (1)論理(2)リニア(3)周波数信号センサ	ABSの概要 (1)論理(2)リニア(3)周波数信号センサの構造・機能・点検方法を学習する。	① P147～P168
第2回	ABS アクチュエータ スッティング駆動アクチュエータ1	ポンプモータ及びリレーの構造・機能・点検方法を学習する。	① P169～P178
第3回	ABS アクチュエータ スッティング駆動アクチュエータ2	モジュレータバルブの構造・機能・点検方法を学習する。	① P179～P185
第4回	ABS アクチュエータ スッティング駆動アクチュエータ3	ABS制御の回路構成、フェイル制御を学習する。	① P186～P188
第5回	ABS アクチュエータ スッティング駆動アクチュエータ4	車両安定制御装置の概要 ABSの構造・機能を学習する。	② P113～P119
第6回	ABS アクチュエータ スッティング駆動アクチュエータ5	ブレーキアシストシステム、トラクションコントロールの構造・作動を学習する。	② P120～P122
第7回	ABS アクチュエータ スッティング駆動アクチュエータ6	ブレーキアシストシステムの作動 トラクションコントロール	② P123～P125
第8回	ABS アクチュエータ スッティング駆動アクチュエータ7	VSCS構成部品を学習する。	② P126～P128
第9回	ABS アクチュエータ スッティング駆動アクチュエータ8	VSCSの作動 システム強調制御を学習する。	② P129～P136
	期末試験	第1回～第9回までの授業内容に関する筆記試験	

到達目標	車両制御安定装置（ABS、ブレーキアシスト、トラクションコントロール、VSCS）の構造、作動、制御、点検、整備を修得する。				
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、期末試験を合算して行う。				
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。				
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が50点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <table> <tr> <td>期末試験の点数</td> <td>80 %</td> </tr> <tr> <td>平常点</td> <td>20 %</td> </tr> </table> <p>上記の割合によって学期末の評点が70点以上である場合、以下により評価する。 70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>70点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで70点以上のとき履修を認定し、成績は70点=良とする。</p>	期末試験の点数	80 %	平常点	20 %
期末試験の点数	80 %				
平常点	20 %				
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が70点未満の場合。				